

2023年10月10日
一般財団法人 日本環境衛生センター

「第67回生活と環境全国大会」および関連行事

—10月18日～19日、福岡県北九州市で開催

〈みどころ〉

- ☆水素エネルギー研究の第一人者である九州大学副学長で水素エネルギー国際研究センター長の佐々木一成教授に「脱炭素社会実現に向けた水素エネルギーの可能性」について、環境省環境再生・資源循環局次長の角倉一郎氏に「循環経済への移行による「新たな成長」の実現」について特別講演を予定しています。
- ☆「生活環境×脱炭素—新時代への移行」を大会テーマに、生活環境における脱炭素の推進について、特別講演や公開講座などを通じてともに考える機会とします。
- ☆昨年度に引き続き実地開催にオンデマンド配信を加えて開催します。

一般財団法人日本環境衛生センター（神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6、理事長＝南川秀樹）は10月18日～19日の2日間、「第67回生活と環境全国大会」を、福岡県北九州市の北九州国際会議場で開催します。

本大会は、環境、廃棄物・資源循環、生活衛生の各分野に関する多様なプログラムを予定しています（[添付のリーフレット参照](#)）。以下、代表的なプログラムを紹介します。

【特別講演①】—テーマ：脱炭素社会実現に向けた水素エネルギーの可能性—

九州大学副学長で水素エネルギー国際研究センター長の佐々木一成教授をお迎えし、脱炭素を目指す社会における水素エネルギーの可能性についてご講演いただきます。

【特別講演②】—テーマ：循環経済への移行による「新たな成長」の実現—

環境省環境再生・資源循環局次長の角倉一郎氏に我が国が目指す循環経済への移行がもたらす「新たな成長」の実現について紹介いただきます。

【3つの公開講座】—廃棄物処理システムの脱炭素化や地域の脱炭素への取り組みなど、多彩な分野を用意—

〈生活衛生関連〉

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」という新たな概念、昆虫食の展望、ワンヘルスに関する自治体の先進的な取り組みなど、生活衛生や環境衛生に関する多様な話題の講演を行います。

<廃棄物・資源循環関連>

「脱炭素型廃棄物処理システムの最前線」をテーマに、国、地方自治体、民間企業等による講演や最新の処理技術等を紹介するセミナー（先着 100 名に軽食用意）を行います。

<環境保全関連>

脱炭素の実現に向けた国の支援メニューや自治体の取り組み事例を紹介します。

生活と環境全国大会とは 環境、廃棄物・資源循環、生活衛生の分野に携わる行政、産業界、市民等の関係者が、顕彰と交流を通じて環境保全の普及啓発や情報交換を行うことを目的とした大会で、毎年開催地を変えて実施しております。10月19日の大会式典では、長年にわたって環境衛生の向上に貢献され、多大な功績を上げられた方々に対して、環境大臣表彰、厚生労働省健康・生活衛生局長感謝状、生活と環境全国大会長感謝状の授与式を行います。

大会プログラムは全て入場無料です。

※報道関係者の方には、抄録集も無料で提供させていただきます。会期中取材にお越し頂ける予定の方は、事前に下記までご一報願います。

■開催概要

日程： 2023年10月18日（水）、19日（木）
（オンデマンド配信：11月13日（月）～12月22日（金）予定）
会場： 北九州国際会議場
（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）
主催： 一般財団法人 日本環境衛生センター
後援： 環境省/厚生労働省/福岡県/北九州市
HP： <https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>

■その他

- ・参加する場合はセンターHPより事前申込制（定員に達した場合は参加できない場合があります）。
- ・案内書（リーフレット）掲載写真の太宰府天満宮「御本殿」は、124年ぶりの“令和の大改修”により、改修工事を行っています。改修期間は御本殿前に「仮殿」が建設されております。

■報道関係の問い合わせ先・取材申し込み先

一般財団法人 日本環境衛生センター
管理部企画広報課 担当：石黒、成瀬、中村
TEL: 044-288-5095、koho@jesc.or.jp
当センターHP：<http://www.jesc.or.jp/>